

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-I-17

4-I-17

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	各種施設のバリアフリー化
	節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	17 各種施設のバリアフリー化		事業主体	佐渡市観光振興課
			関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡観光協会、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)、(株)ゴールデン佐渡
事業実施期間	H28~H34			
事業概要	【事業目的】			
	○ 各種施設のバリアフリー化により、高齢者等の利便性向上を図る。			
事業概要	【事業内容】			
	○ 公共施設及び公共交通施設等の現状調査を実施し、エレベーターやエスカレーターの整備など各種施設のバリアフリー化を推進する。			
事業実績	【事業成果】			
	● トイレ改修計画に基づき、バリアフリー化が必要な箇所について検討した。			
今後の取組・課題	【課題】			
	市民からバリアフリー化の要望は今のところないが、他地域の観光施設と比べバリアフリー化は遅れている。			
今後の取組・課題	【今後の取組】			
	H29年度よりバリアフリー化が必要な施設の実態調査を行い、計画的な整備に向けた準備を進める。			
事業評価	【事業の達成度】			
	[a (b) ・ c]			
	◇ 自然景観等を活かした観光コンテンツが多く、バリアフリー化は遅れているが、公共施設に係るトイレ洋式化に特化した検討を内部で実施した。			
事業評価	【事業実施の効果】			
	[a (b) ・ c]			
	【総合評価】			
[A (B) ・ C]				

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。